

特講・社会福祉学 18 (生活困窮者自立支援の実際)		単位数	履修方法	配当年次
		1	S	1年以上
科目コード	DT2218	担当教員	下村 幸仁	

■スクーリングで学んでほしいこと

生活困窮者自立支援法が 2015 年 4 月から施行され、生活困窮者自立支援が本格的に実施されています。導入されて間もないことから制度が普及するには時間を要します。しかし、生活困窮状態にある当事者からすると、支援の必要性は喫緊の課題です。

本特講では、制度導入の背景から制度の必要性を理解し、また健康で文化的な最低生活を保障する制度である生活保護との相違点と制度間のつなぎについて学びます。

■到達目標

- 1) 生活困窮者問題の原因について理解できる。
- 2) 生活困窮者自立支援制度の基本的な説明ができる。
- 3) 生活困窮者問題について、現在の法・制度や社会資源を活用して問題を解決しようとする意欲がある。

■スクーリング講義内容

テーマ	内容
1) 貧困と生活困窮	貧困の本質から、生活困窮とは何かを考える。
2) 生活保護制度について	生活困窮者自立支援制度と隣接する生活保護制度についてその概要を理解する。
3) 生活困窮者自立支援制度の導入背景	生活困窮者自立支援制度が導入された背景について学ぶ。
4) 生活困窮者自立支援事業の概要	生活困窮者自立支援事業の各事業内容について理解する。
5) ~6) パネルディスカッション	生活困窮者の自立支援に取り組んでいる実践家による現状と課題についての報告からその実際を理解する。
7) 事例検討	生活困窮者の事例を基にグループディスカッションを行う。具体的に生活困窮者を理解するとともに、その支援方法について検討する。
8) 全体の振り返り	講義全体を振り返り、生活困窮者自立支援事業を推進していくために何が必要かを考える。(30分)
9) 試験	スクーリング試験(60分)

■講義の進め方

パワーポイントと配付資料による講義、および生活困窮者自立支援事業に携わっている支援者の実践についてパネルディスカッションを通じて学ぶ。

■スクーリング評価の基準

スクーリング試験 100%で評価します。内訳は、生活困窮者問題の原因を理解しているか 10%、生活困窮者自立支援事業の基本を理解しているか 60%、生活困窮者問題を解決しようとする思考があるか 30%の合計 100%です。
なお、試験は記述式で、自筆ノートのみ持込可能です。

■スクーリング時の教科書

教科書は使用しません。当日は、レジメを配布します。

■スクーリング事前学習

公的扶助論(低所得者に対する支援と生活保護制度)と地域福祉論(地域福祉の理論と方法)を予習または復習しておくこと。

■スクーリング事後学習

本年度の地方公務員社会福祉専門職試験でもすでに問題として出題されていますし、本年度の社会福祉士国家試験でも出題される可能性が高い分野です。必ずレジメを復習しておいてください。

■参考図書

『ソーシャルアクション』第3号 2015.6 全国コミュニティライフサポートセンター(CLC) 1,800円+税 ISBN978-4-904874-36-3